

果樹新改植安定化緊急対策事業（新規）

園芸振興課

今冬の大雪により被害を受けた果樹産地の復旧・再生を図るため、緊急的に苗木の導入支援を行うとともに、懸念される苗木の供給不足に対応し、県独自の確保対策を実施する。

1 事業内容

(1) 緊急新改植支援事業

平成22年の豪雪被害からの復旧・再生に向け植栽された幼木が、今冬の大雪により新たな被害を受けたことから、苗木の改植等に要する経費に対し助成する。

- ・ 補助対象：苗木の導入経費（苗木単価2,500円以内/本）
- ・ 助成数：5,900本
- ・ 補助率：1/2以内

(2) 苗木供給安定化事業

雪害からの復旧・再生と併せて、りんごの県オリジナル品種（秋田紅あかり等）への転換を着実に進めるため、県オリジナル品種等の苗木を確保できる生産体制を早急に整備する。

- ・ 10ha分（7,000本）の苗木を生産、無償配布
- ・ 果樹農家への苗木の配布は平成26年度

2 事業主体

(1) 市町村

(2) 県（委託先 一般社団法人 秋田県果樹協会）

3 予算額

14,072千円（繰入金：農林漁業振興臨時対策基金）

(1) 7,375千円

（負担金補助及び交付金 7,375千円）

(2) 6,697千円

（委託料 6,697千円）

4 事業年度

平成25年度

果樹新改植安定化緊急対策事業

県および国の事業で
着実な再生支援

H22～H23豪雪被害

被害面積1,292ha
(栽培面積の約87%)
うち甚大な被害(要補改植)
355ha

被害面積(要補改植面積)の内訳

H22 1,275ha(350ha)
H23 17ha(5ha)

補改植済面積 227ha

補改植済面積の内訳
H23 157ha
H24 70ha

しかし

H24大雪被害

【被害規模】

◆秋田県における被害
果樹全体 被害面積 90ha(要補改植面積33ha)
被害金額 120,857千円

りんご 被害面積 84ha
被害金額 110,620千円
うち幼木 被害面積 16ha
被害本数 約8,500本

◆主産地(青森県)でも雪害発生(りんご園地の3割に被害発生)

【秋田県果樹産地に及ぼす影響】

◆意欲ある生産者が植栽した幼木に被害 →
◆雪害発生により苗木需要が増大 →

園地再生への意欲低下
全国的な苗木不足

◆緊急的な苗木導入支援が必要

◆県独自の苗木供給支援が必要

2

3年連続大雪からの補改植 による樹園地の復旧状況

年度	復旧率(復旧面積)
H23	41%(157ha)
H24	59%(227ha)
H25	72%(279ha)
H26	80%(309ha)

H26まで支援継続で
産地再生に概ね目途

H22～24 要補改植面積
388haに対する復旧率

((緊急新改植支援事業))

H25補改植への支援

H22雪害からの復旧を目指して、
植栽した幼木に発生した新たな
雪害に対応するため、緊急的な
支援を実施

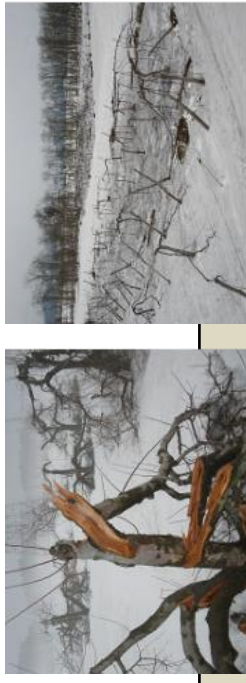
・苗木の導入経費に対する助成
・補助率 1/2以内
・予算額 7,375千円

((苗木供給安定化事業))

H26補改植用苗木の確保

県オリジナル品種等の苗木生産
体制を整備し、現場ニーズに対応
した無償配布用の苗木を育成

・10ha分(7,000本)の苗木を育成・配布
・予算額 6,697千円



[参考]

大雪による農林水産関係の被害状況について

昨年末から断続的に続いた降雪により、県南地域を中心に果樹の樹体被害が発生したほか、県内各地でパイプハウスの損壊等の被害が見られた。

1 被害状況

○ 被害総額 219,457千円

(1) 農作物

○ 被害額 4,670千円

○ 被害作物 菌床しいたけ、花き、ホウレンソウ等

(2) 樹体

○ 被害額 120,857千円

○ 被害状況

区分	被害面積(ha)	備 考
りんご	84 (うち幼木16)	鹿角：- ha 北秋田：0 ha 山本：- ha 秋 田：10 ha 由利：1 ha 仙 北：31 ha 平鹿：31 ha 雄 勝：11 ha
その他	6	もも、ぶどう、なし
計	90	

(3) 農業施設

○ 被害額 93,930千円

○ 被害状況

区分	被害程度	棟 数	備 考
パイプハウス	全 壊	111	鹿角：- 棟 北秋田：23 棟
	半 壊	91	山本：38 棟 秋 田：22 棟
	ビニール破損	11	由利：16 棟 仙 北：75 棟
	小 計	213	平鹿：5 棟 雄 勝：34 棟
その他		18	畜舎、作業小屋等
計		231	

2 これまでの主な対応

- 12月から1月にかけて、秋田県農作物異常気象対策本部から雪害対策に関する注意喚起文書を3回発出。雪に埋もれた枝の掘り上げや被害枝の処置等を指導。
- 1月23日、JAグループ・県等で「雪害対策に関する連絡会議」を開催し、気象経過と予報、雪害防止への取組について情報交換。
- 3月6日、秋田県農作物異常気象対策本部から融雪の遅れに対する技術対策を指導。